

慶雲寺報

NEWS

* 住職近況

早い梅雨明けから半月が経ち、やつと体と心が慣れてきました。境内の刈込や除草も徐々に進めており、両腕が作業手袋焼けの状態です。

任期半分が過ぎた宗務所も、諸行事が縮小傾向となつていきます。火・金の執務は変わらずですが、行事準備に追われる慌ただしさからは解放されております。

令和3年8月号
日常で、ワクチン接種が話題に上ることも多くなりました。危惧された東京五輪も何とか開催となる一方、デルタ株と称される変異ウイルスの広がりも看過できない状況です。いま一度気を引き締めて、基本の感染対策を励行しましょう。

寺では、日々の年忌供養等、通常通り勤めております。参列者は身内のみということが多くですが、多くのお檀家さまが、コロナ禍のさなかでも、節目のご法事を大切にして下さっております。亡き方への報恩の想い…大切に…。

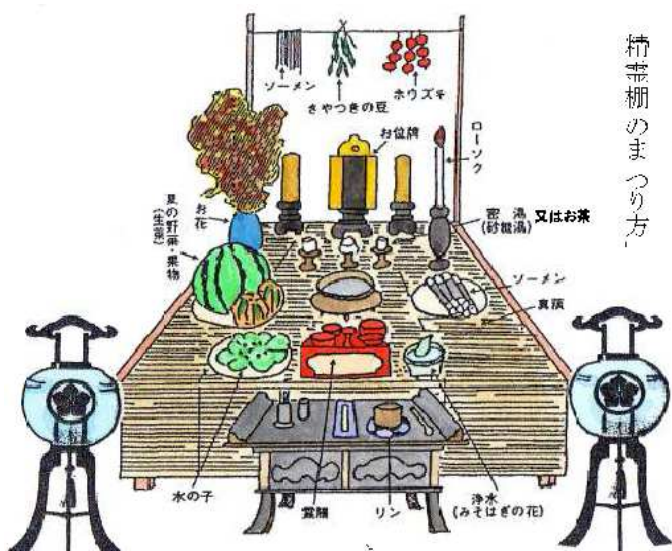
* 盆棚経について

お伺い予定のお宅には、寺報に添えて別紙予定表をお届けいたしました。

昨年に引き続き、【初盆宅のみ】お伺いする形といたします。

* お盆あれこれ

精霊棚のまつり方



◀飾り方の一例▶

▼お盆精霊棚▼

ご自宅にお帰りになったご先祖さまにお休みいただく場所として、お座敷を模して準備もあります。室内スペースの問題もありますが、初盆・それ以外を問わず、小型のテーブルなどで仏壇とは別に用意するのが本来の姿です。更に言えば、段飾りより平面であるほうが(座敷)としては適しているでしょう。

13日に気持ちよくご先祖様をお迎えできますよう、各家のお墓やお仏壇の清掃等、準備いたしましょう。

ご先祖様のおられない墓地区画も、雑草の種子が他へこぼれますので除草をお願いします。

◎伝道揭示板から

欲深く自分の利益だけを考えている方を「我利我利亡者」などと称しますが、周りとの調和を考えない振る舞いは、あまり良い印象を持ってません。子供の学習課題に「複眼的思考」というものがあります。

とかく誤解の
因となる
ひとりよがりや
意地っ張り

ありました。一つの事柄を自分の見地だけでなく、様々な立場から読み解こうというもので、視野を広め、相手の立場を考える(想像する)意味で、我利我利に陥らないためにも、とても良い課題だと感じました。

曹洞宗の法要での礼拝は、両膝・おでこをつき、両手で仏さまの足を押し戴く姿で行われます。お世話になった御老僧から「お拝のたび、自分の頭に生えてしまう(我のツノ)を削り取るように丁寧に勤めなさい」と教えていただきました。一度削り取ったからといって、またすぐに生えてくるのが、老僧のおっしゃる(我のツノ)です。日々よく点検しながら、余計な誤解や衝突を生まないよう心掛けていきたいものです。

* ハチに注意

本堂軒にも営巣(駆除済)が見られました。この時期、墓地区画の灯籠や線香皿の箇所にも巣がある場合がございます。お墓参りの際は、十分お気を付け下さい。

